

ラジオNIKKEI ■放送 毎週木曜日 21:00~21:15

# マルホ皮膚科セミナー

2010年3月25日放送

## 「第4回日本・豪州合同皮膚科学会を終えて」

北海道大学 皮膚科 教授  
清水 宏

平成21年7月10日（金）～12日（日）の3日間にわたり、第4回日本・豪州合同皮膚科学会を札幌市にて開催させて頂きました。折しもWHOから新型インフルエンザの世界的な流行が伝えられたことにより、学会長としましてはキャンセルが生じることを懸念しておりましたが、結局会場となりました北海道大学学術交流会館には、日本、オーストラリア、ニュージーランドのみならず、アジア、ヨーロッパの様々な国から会期中300人を超える方々にご参加頂きました。

日本・豪州合同皮膚科学会は、日本皮膚科学会（JDA）と Australian College of Dermatologist（ACD）両学会の協力により、皮膚科学における最新の情報を交換する国際的な交流の場として、1995年にオーストラリア、ケアンズ市で第1回の学会が開催されました。その後、1999年には第2回の学会が京都市にて、また2003年には第3回がオーストラリア、エアーズロックにて開催されており、今回の札幌での開催は通算4回目となります。

学会初日の Opening Ceremony では、私の学会長としての挨拶のあと、日本、オーストラリア、ニュージーランドを代表して、それぞれ橋本公二 JDA 理事長、Ian McCrossin ACD 会長、Marius Rademaker 先生にご挨拶を頂きましたが、なかでも Marius Rademaker 先生が各国代表の先生方とニュージーランドマオリ式の

### 第4回日本・豪州合同皮膚科学会



平成21年7月10日（金）～12日（日）  
札幌市

挨拶を交わされ会場からの喝采をあげられたのが印象的でした。

今回の学会は「Global Dermatology from Japan and Australasian」というメインテーマを掲げ、皮膚科学に係わる幅広い分野についての最先端の話題をとりあげました。学会は一般演題として31題のオーラルプレゼンテーションと79題のポスター発表に加え、トピックスを絞った7つのシンポジウム、4つのセミナー、特別講演などから構成され、会場では多彩な演題に対し活発な討議が行われました。具体的には、表に示しますとおり、シンポジウムに関しては、1) 遺伝性皮膚疾患、2) 再生医療、3) アトピー性皮膚炎とアレルギー性疾患、4) 薬剤・ウイルス誘発性皮膚反応、5) 皮膚外科、6) 美容皮膚科とレーザー治療、7) 水疱症、と7つのテーマをとりあげました。また、ランチョン、モーニングセミナーに関しては、1) 東アジアからのトピックス、2) 光線過敏性皮膚疾患、3) 自己免疫性疾患、4) What's new と題した4つを組ませてもらいました。

学会には、英国ロンドンキングズ大学から John McGrath 教授 (Australian College of Dermatologist 推薦)、オーストラリアメルボルン大学から Rodney Sinclair 教授(日本皮膚科学会推薦)を Invited Speaker としてお招きし、それぞれ遺伝性皮膚疾患と再生医療についての最新の知見についてご講演を頂きました。また、今回は合同皮膚科学会初の試みとして、日本、豪州以外のアジア圏からも多数の先生方をお招きし、セミナーでのご講演を頂きました。中国からは北京大学の Jianzhong Zhang 教授と西安第四軍医科大学の Gang Wang 教授が、韓国からはソウル国際大学の Hee Chul Eun 教授と Kwang-Hyun Cho 教授が、また台湾からは高雄医科大学の Hsin-Su Yu 教

セッション	テーマ	講師
シンポジウム 1	Genodermatosis	John McGrath (London, UK)
		Tamio Suzuki (Yamagata, Japan)
		Akemi Yamamoto (Asahikawa, Japan)
		Ken Arita (Sapporo, Japan)
シンポジウム 2	Tissue Engineering	Rodney Sinclair (Fitzroy, Australia)
		James McMillan (Brisbane, Australia)
		Yuji Shirakata (Ehime, Japan)
		Riichiro Abe (Sapporo, Japan)
シンポジウム 3	Atopic Dermatitis and Allergic Diseases	Deborah Greig (Auckland, New Zealand)
		Eishin Morita (Shimane, Japan)
		Masashi Akiyama (Sapporo, Japan)
		Hidehisa Saeki (Tokyo, Japan)
シンポジウム 4	Drug and Viral Induced Skin Reactions	Marius Rademacher (Hamilton, New Zealand)
		Tetsuo Shiohara (Tokyo, Japan)
		Keiji Iwatsuki (Okayama, Japan)
		Kenji Kabeshima (Kyoto, Japan)

セッション	テーマ	講師
シンポジウム 5	Dermatological Surgery	Shawn Richards (Westmead, Australia)
		Yoichi Moroi (Fukuoka, Japan)
		Takafumi Kadono (Tokyo, Japan)
		Satoru Aoyagi (Sapporo, Japan)
シンポジウム 6	Cosmetic Dermatology and Laser Therapy	Greg Goodman (South Yarra, Australia)
		Adrian Lim (Sydney, Australia)
		Fukumi Furukawa (Wakayama, Japan)
		Akimichi Morita (Nagoya, Japan)
シンポジウム 7	Blistering Diseases	John Su (Parkville, Australia)
		Gang Wang (Xian, China)
		Takashi Hashimoto (Kurume, Japan)
		Masayuki Amagai (Tokyo, Japan)
		Daisuke Sawamura (Hiroasaki, Japan)

セッション	テーマ	講師
ランチョンセミナー 1	Topics From Eastern Asian Countries (Viral and Genetic Disorders)	Xuejun Zhang (Hefei, China)
		Kwang-Hyun Cho (Seoul, South Korea)
		Tatsuyoshi Kawamura (Yamanashi, Japan)
ランチョンセミナー 2	Physicochemical and Photosensitive Disorders	L2-1 Hsin-Su Yu (Kaohsiung, Taiwan)
		L2-2 James McMillan (Brisbane, Australia)
		L2-3 Hee Chul Eun (Seoul, South Korea)
		L3-1 John McGrath (London, UK)
ランチョンセミナー 3	Special Invited Lectures	L3-2 Rodney Sinclair (Fitzroy, Australia)
		L3-3 Yoshiki Tokura (Kitakyushu, Japan)
		L3-4 Robin Marie (Melbourne, Australia)
		M-1 Gang Wang (Xian, China)
モーニングセミナー	Topics in Autoimmune Skin Disorders	M-2 J.Yu-Yun Lee (Tainan, Taiwan)
		M-3 Jianzhong Zhang (Beijing, China)

授と国立成功大学の Julia Yu-Yun Lee 教授が参加され、それぞれの専門分野につき基礎、臨床の豊富なご経験に基づいた講演を頂きました。また ILDS 前会長の Robin Marks 教授と、日本研究皮膚科学会理事長の産業医科大学の戸倉新樹教授にも特別講演をお願いしました。

また学術的発表のみならず、海外から足を運んでこられた先生方や同伴者の皆様には、日本文化体験の場として Japanese Culture Program を設け、着付け、お茶、生け花、札幌 1 日観光、北大構内ツアーなどを設定し、多くの皆様に札幌を楽しんでいただきました。

初日のみならず、Welcome Reception はサッポロビール園にて、ジンギスカンやビール・ワインなど、カジュアルな形で気軽に楽しんでいただきました。サッポロビール園では、雰囲気を見計らい、学会長として挨拶のかわりに乾杯として札幌だけで通じる諺（ことわざ）を紹介しました。「When in Rome, do as the Romans do. When in Sapporo, drink Sapporo beer!!!」もちろんこんな諺はなく、自作の即興ですが、これが妙に受け、海外からの先生は、When in Sapporo, drink Sapporo beer! と言いながらビール飲んで、懇親の場を楽しんでいました。

2 日目夜の Social Gathering では、学会場からバスで 1972 年に冬季オリンピック札幌大会のジャンプ会場となった大倉山シャンツェに立ち寄り、全員リフトでジャンプ台の頂上から雄大な景色を楽しみました。その後、ホテルで 200 名着席で懐石料理を楽しみました。Social Gathering ではセミナーでもご講演を頂いた産業医科大学の戸倉新樹教授と北大皮膚科の有田 賢先生がフルートとピアノによる華麗なデュエットを披露され、参加の皆様から喝采を受けられておりました。また、会に先立ち学会賞受賞者の発表が行われ、4 名の先生方が賞金を手に満面の笑みを浮かべられておりました。今後の研鑽の励みになっていただければ幸いです。

今回の学会は、日本とオーストラリア、ニュージーランド皮膚科医の国際交流という観点から、scientific な面のみならず、social な面でも充実していたと、海外からの参加者のみならず国内からご参加頂いた先生方からもご好評を頂きました。

今回の学会では組織委員、プログラム委員をお引き受け頂いた先生がたを始めとして、多数の先生にご協力をいただき、盛会の内に学会を終了することができました。なかでも ACD を代表してご尽力頂いた、Stephen Shumack 先生、Adrian Lim 先生、Rodney Sheaves 氏、また事務局を担当してくださった教室の芝木晃彦先生、中村秀樹先生、小山内真央さん、河西桜子さんにも心から感謝申し上げます。

次回、第5回日本・豪州合同皮膚科学会は2014年にニュージーランドのクイーンズタウン市で開催されることが予定されております。日本からも多数の先生方が参加されることを期待しております。